

## 【会議結果】

会議名	令和7年度 第1回碧南市地域公共交通活性化協議会
日時	令和8年3月12日(木) 午後3時～4時
場所	碧南市文化会館3階 大会議室
出席者	碧南市地域公共交通活性化協議会委員18名(内代理出席 5名) 事務局4名 (欠席:碧南警察署 中筋委員)
傍聴者	2名

### 議事

#### 1 会長あいさつ

○山本会長(碧南市副市長)

お忙しい中、皆さんご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃より碧南市政全般に対して、深いご理解、ご協力を賜り、この場を借りてお礼を申し上げたい。

今年度新たに委員に委嘱された5名の方についても、前任の委員様と同様、当市の公共交通についてご意見をいただければと思う。

本市は令和6年3月に碧南市地域公共交通計画を策定し、今年度で2年目となる。日々、事業者の皆様のご協力をいただきながら目標に向けて取り組んでいるところである。

本日の会議においても、忌憚のないご意見をいただければと思う。

#### 2 概要説明

○小田代理委員(中部運輸局愛知運輸支局運輸企画専門官)

- ・地域公共交通会議について説明

#### 3 議題

##### (1) 令和6年度実施事業について(報告)

○事務局

- ・資料2～13ページについて説明

### 質疑応答

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

3点確認がしたい。1点目として、計画の基本目標1事業項目C「タクシー運行の活性化」については、令和6年度実施事業には何も報告が無いが、どのような状況か。

2点目として、資料12ページのくるくるバス利用者数の推移について、パープルコースとみどりコースの回復の差異には何か要因があるのか。

3点目として、資料13ページの一般タクシー利用者数の推移について、碧南市全体でタクシーの利用者数が減っているのか、それとも乗務員が集まらず車両の台数が減ってしまい利用者を取りこぼしているのか、どちらでお考えか。

○事務局

1点目について、令和6年度は事務局からタクシー事業者へのコンタクトが取れていないが、令和7年度に話し合いの場を設けさせていただいた。ここからご意見をいただきながらできることを探していきたいと考えている。

2点目について、正直なところ要因は分かりかねる状況。パープル・オレンジは市内内回りのコース、みどり・あおは市内外回りのコースとなっており、外回りコースの回復が鈍くなっていることは読み取れるが、要因は掴めていない。

3点目について、事業者との会話の中では、利用が減っているというよりは、通院やビジネスでの利用が集中する時間があり、その際に取りこぼしている部分があるかもしれない。それ以外はあまりニーズが無い感覚がある。

○榊原委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

くるくるバスの令和7年度の利用者数については集計段階かと思うが、途中経過などは分かるのか。

○事務局

令和6年度と比べて全体的に利用者数が大きく伸びているような傾向は、残念ながら見られていない。

(2) 令和8年度実施事業について（協議）

○事務局

・資料14～15ページについて説明

**質疑応答**

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

資料14ページ「⑦くるくるバスの運行時刻検索方法の広報・周知」について、経路検索サイトで「市役所」バス停などのワードで検索すると、日本全国の同一名称のバス停が出てしまう。例えば、「碧南市役所」バス停などに名称を変更すると、利用者の利便性が上がって使ってもらいやすくなるという事例を聞いたことがある。費用の問題もありすぐの対応は難しいかと思うが、そういったことも検討いただくと利便性向上に繋がるのでは。

○事務局

初めていただくご意見だった。今後の検討材料とさせていただく。

○森本代理委員（愛知県都市・交通局交通対策課主事）

さきほどもお話しに挙がっていたが、計画の基本目標1事業項目C「タクシー運行の活性化」、事業項目D「地域内交流交通を補完する交通手段の検討」について、現状を教えてほしい。

○事務局

事業項目Cについては、令和7年度に事業者とファーストコンタクトができた段階である。そこでは共通の課題は見出せず、今後の動きを考えているところである。

事業項目Dについては、近隣市でもデマンド交通が取り入れられ始めているが、当市の場

合、市域が広いこともあり導入には課題があると考えている。一方、幸田町では路線バスの大きな見直しとデマンド交通の両立を実施していくということを伺っており、事務局としては、実施までの過程を研究させていただきたいと考えている。

○小田代理委員（中部運輸局愛知運輸支局運輸企画専門官）

愛知運輸支局でも愛知県内外のデマンド交通の事例を把握しているので、お困りごとがある時はご相談いただければ。

事業項目Cについては、自治体イベントの冊子やHPなどのアクセスガイドで「お急ぎの方はタクシーをご利用ください」といった案内を載せてもよいのでは。

経路検索サイトについては、特に利用者数の多い行先のバス停名は差別化されていると使いやすいかと思う。

○榊原委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

くるくるバスを利用できる方というのは、ある程度元気な方に限られ、バス停まで行くのも大変な方がいる。その点、タクシーは家の前まで来てもらえるので、そのあたりをくるくるバスと連携できたらよいのでは。行きと帰りでバスとタクシーを乗り換えるとか。

○事務局

ご指摘の通り、お身体の不自由な方にとっては、最終的にタクシーやデマンド交通も含めた個別輸送が移動手段となってくると思っており、タクシーを公共交通の一つに位置付けているのもそのためである。また、お身体が元気なうちに少しでも公共交通を利用することに慣れてもらうことも大事だと考え、くるくるバスの商業施設への乗り入れを実施し利便性を高めた背景がある。

○鳥居委員（市民公募）

以前、くるくるバスのバス停で待っていたところ、反対コースの運転手から道が混んでいるのでもう少し待ってねとお声がけいただけて助かった。スマホが使えない方も安心して待てるので、今後も続けてほしい。

○岩崎副会長（四日市大学）

資料12ページ下部の一人当たりの行政負担額が481.8円と計画策定時より下がっている理由を再確認したい。

また、この数字は燃料費を含んでいるので、負担額の軽減も一瞬のことかと思う。市の財政的にも厳しい状態の中で、いつまでこの運行が続けられるのかというのは差し迫った問題だと感じる。一人当たりの行政負担額を減らすにはくるくるバスに乗ってもらうしかない。従来 of 事業に加え、適切なデマンド交通の導入を具体的に検討していく必要があるのでは。何種類かの公共交通の手段があってもよいと思う。

コミュニティバスを廃止してデマンド交通を導入するという施策についても、丁寧に説明をしていけばすんなりと受け入れられているケースも多い。運行事業者の燃料費を含めた経費増と運転手不足が課題ではあるが。

○事務局

一人当たりの行政負担額の減については、運行業務委託を令和5年10月からの3ヵ年契

約としているため、契約当初時の経費のまま利用者数が増えたためである。

デマンド交通との組み合わせについては、具体的な案が描けていないのが現状ではあるが、利用状況を確認しながら検討していきたい。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

参考までに、近隣だと、刈谷市コミュニティバスが令和8年2月から無料から200円へと変わり、東浦町も値上げを検討している。また、刈谷市が北部地域限定でデマンド交通をやっている。

○事務局

くるくるバスは運賃無料で運行しており、当然有料化の話も繰り返し上がっている。無料であることで市が助かっていることとして、運転手に二種免許が無くても運転ができるということがある。また、市内に細かくバス停を設置しているが、バス停位置をずらしてほしいという要望にも、厳しい制約のない無料運行であることで柔軟に対応しやすい。

今後も現状に甘んじることなく、情勢を注視していきたい。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

デマンド交通のチョイソコを高浜市や刈谷市北部で大興タクシー(株)が運行しているが、エリアで認可の届け出をするため、駐車場所の変更は柔軟に対応しやすい仕組みとなっている。

○山本会長（碧南市副市長）

議題(2)の賛否の決をとりたい。賛成の方は拍手をお願いしたい。

(拍手)

○山本会長（碧南市副市長）

拍手多数ということで承認された。

#### 4 その他

○事務局

近日市内で開催予定のイベントパンフレットを配布させていただいた。ぜひ公共交通機関を利用してお越しいただきたい。

- ・次回開催予定 令和8年7月3日（金）午後2時～  
碧南市役所7階 議員大会議室にて